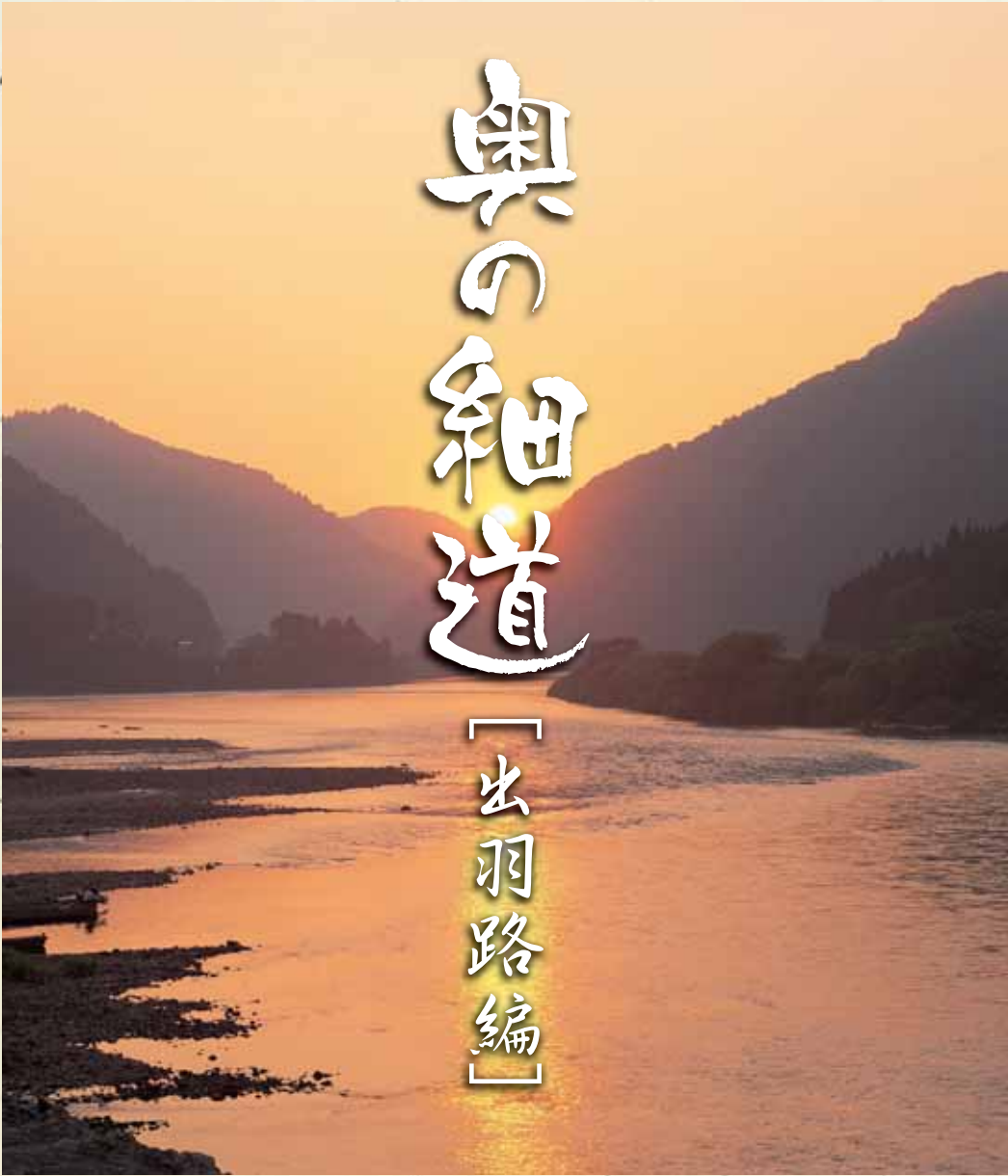




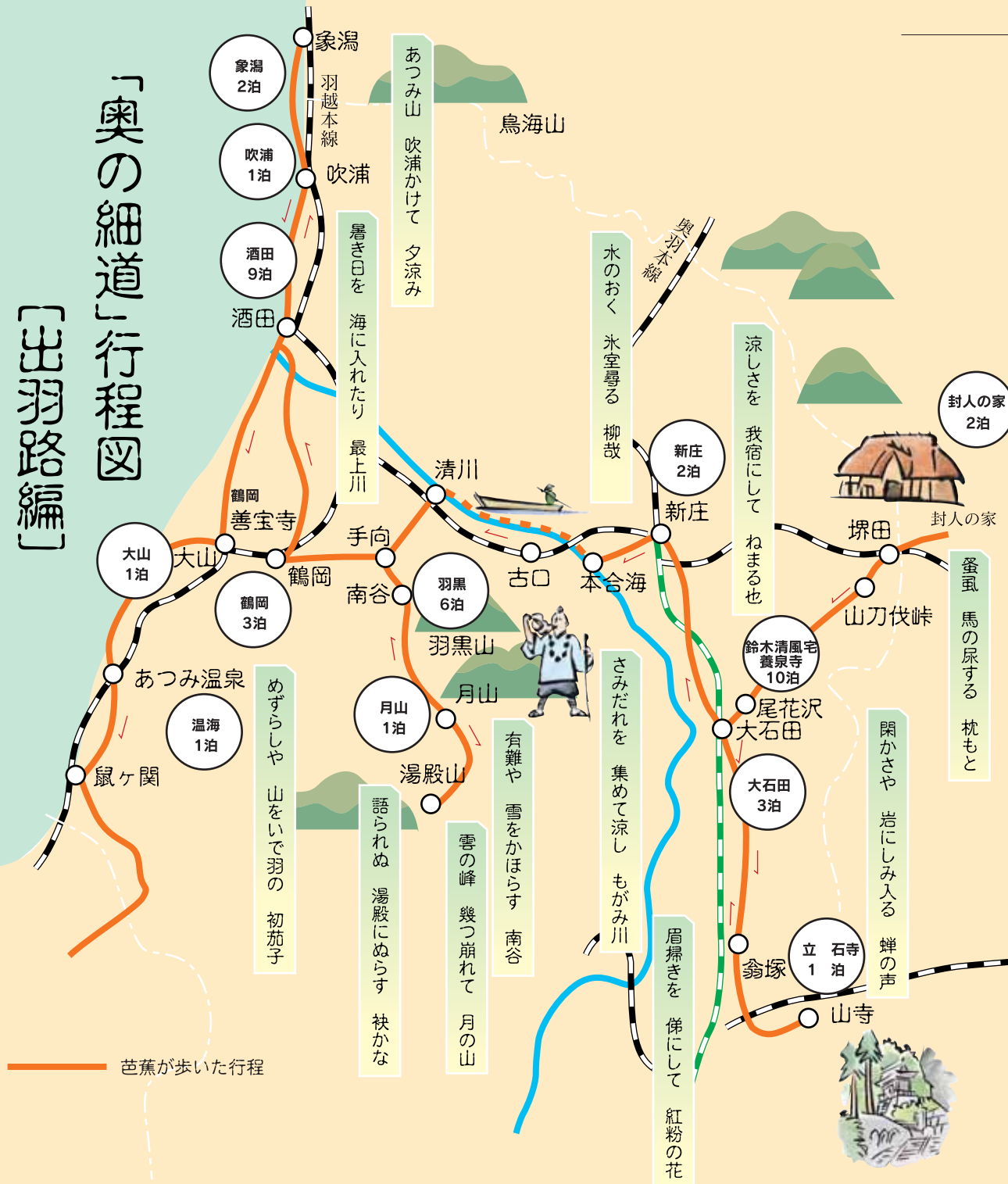
# 奥の細道

〔出羽路編〕

最上川

山形県奥の細道観光資源保存会  
(社)山形県観光物産協会

# 「奥の細道」行程図 [出羽路編]



| 旧暦月日  | 陽暦月日 | 宿泊地     | 氏名          |
|-------|------|---------|-------------|
| 五月十五日 | 七月一日 | 最上町堺田   | (和泉庄屋新右衛門兄) |
| 十六日   | 二日   | 同 右     | (同右)        |
| 十七日   | 三日   | 尾花沢市尾花沢 | (鈴木八右衛門・清風) |
| 十八日   | 四日   | 同 右     | (養泉寺)       |
| 十九日   | 五日   | 同 同     | (養泉寺)       |
| 二十日   | 六日   | 同 同     | (鈴木八右衛門・清風) |
| 二十一日  | 七日   | 同 右     | (養泉寺)       |
| 二十二日  | 八日   | 同 右     | (鈴木八右衛門・清風) |
| 二十三日  | 九日   | 同 同     | (養泉寺)       |
| 二十四日  | 十日   | 同 右     | (養泉寺)       |
| 二十五日  | 十一日  | 同 同     | (養泉寺)       |
| 二十六日  | 十二日  | 同 同     | (養泉寺)       |
| 二十七日  | 十三日  | 山形市山寺   | (立石寺・預り坊)   |
| 二十八日  | 十四日  | 大石田町大石田 | (高野平右衛門・一栄) |
| 二十九日  | 十五日  | 同 右     | (養泉寺)       |
| 三十日   | 十六日  | 同 同     | (養泉寺)       |
| 三十一日  | 十七日  | 同 同     | (養泉寺)       |
| 六月一日  | 十八日  | 新庄市     | (渋谷甚兵衛・風流)  |
| 晦日    | 十九日  | 同 右     | (養泉寺)       |
| 四日    | 二十日  | 羽黒町羽黒山  | (南谷別院)      |

| 旧暦月日 | 陽暦月日 | 宿泊地      | 氏名           |
|------|------|----------|--------------|
| 五月五日 | 二十一日 | 羽黒町羽黒山   | (南谷別院)       |
| 六日   | 二十二日 | 月山山頂     | (角兵衛小屋)      |
| 七日   | 二十三日 | 羽黒山南谷    | (南谷別院)       |
| 八日   | 二十四日 | 同 同      | (南谷別院)       |
| 九日   | 二十五日 | 同 同      | (南谷別院)       |
| 十日   | 二十六日 | 鶴岡市長山小路  | (長山五郎右衛門・重行) |
| 十一日  | 二十七日 | 同 同      | (長山五郎右衛門・重行) |
| 十二日  | 二十八日 | 同 同      | (長山五郎右衛門・重行) |
| 十三日  | 二十九日 | 酒田市本町二丁目 | (伊藤玄順・不玉)    |
| 十四日  | 三十日  | 同 同      | (伊藤玄順・不玉)    |
| 十五日  | 三十一日 | 遊佐町吹浦    | (不明)         |
| 十六日  | 八月一日 | 秋田県象潟町塩越 | (佐々木孫左衛門向家)  |
| 十七日  | 二日   | 同 同      | (佐々木孫左衛門向家)  |
| 十八日  | 三日   | 酒田市本町二丁目 | (伊藤玄順・不玉)    |
| 十九日  | 四日   | 同 同      | (伊藤玄順・不玉)    |
| 二十日  | 五日   | 同 同      | (伊藤玄順・不玉)    |
| 二十一日 | 六日   | 同 同      | (伊藤玄順・不玉)    |
| 二十二日 | 七日   | 同 同      | (伊藤玄順・不玉)    |
| 二十三日 | 八日   | 同 同      | (伊藤玄順・不玉)    |
| 二十四日 | 九日   | 同 同      | (伊藤玄順・不玉)    |
| 二十五日 | 十日   | 鶴岡市大山    | (丸や義左衛門)     |
| 二十六日 | 十一日  | 温海町温海    | (鈴木惣左衛門)     |
| 二十七日 | 十二日  | 新潟県へ     | (鈴木惣左衛門)     |

# 『奥の細道』出羽路編

元禄2年（1689）の晩春、  
旧3月27日、松尾芭蕉は門人曾良をともない、  
江戸深川の芭蕉庵から遠く奥羽行脚の長途の旅に出ました。  
芭蕉翁46歳、曾良41歳、  
最上町堺田から出羽の国に入り、  
山刀伐峠を越え、  
尾花沢に清風を訪ね、山寺・立石寺を一見、大石田、新庄を経て  
本合海から最上川を舟で下り、清川に上陸しました。  
羽黒山・月山・湯殿山の出羽三山を巡拝。  
鶴岡、酒田を経て、象潟の蛸満寺を訪れ、  
温海を最後に、鼠ヶ関から一路、  
越後路へ向かいました。  
40日余りの出羽路の旅を終え、  
数々の名句と白眉の名文を残し、  
今なお『奥の細道』を旅する人に、  
さまざまな自然絵巻を語りかけてくれます。





# 堺田

SAKAIDA

## 蚤虱 馬の尿する 枕もと

関守の家に泊ってもらったのはよかったが、夜もすがら、蚤（のみ）と虱（しらみ）にせめられ、あまつさえ枕もとでは馬のばりつく（尿のこと）音におどかされ、熟睡もできずに早や夜が明けてしまった

平泉で引き返した芭蕉主従は、岩出山を経て尿前の関を越え、出羽の国に入り、堺田の「封人の家」に宿ったのは、元禄2年5月15日（陽暦7月1日）のことで、天候に災いされ2泊しました。封人とは、国境を守る関守のことで、この地で代々庄屋をつとめていた有路家がその任にあたっていたといわれています。

建物は江戸時代初期の創建といわれ、貴重な建築物として国の重要文化財の指定を受け、昭和48年に当時の姿に復元、家屋内には『奥の細道』の関係資料のほか、馬具などが展示、一般公開されています。馬と人間が一つ屋根の下に同居する造りは、芭蕉の創作意欲をかきたてたことでしょう。



### 封人の家

茅葺き屋根のどっしりとした佇まいは、旧家ならではの土間が広がり、まさに芭蕉の句のままの風景が思い浮かぶ。また前庭には、小宮豊隆揮毫による「蚤虱…」の句碑が建っている。

### 赤倉温泉

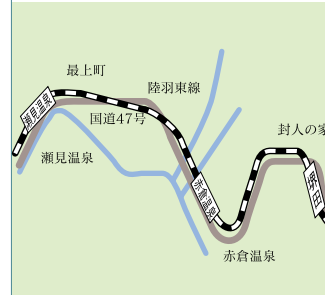
863年に慈覚大師によって発見された小国川の川岸にある湯の里。近くには赤倉温泉スキー場もある。神経痛、慢性湿疹などに効果大。



### 前森高原

大自然が魅力的な最上町。そのなかでも、前森高原は、乗馬をはじめ、アスレチック、パラグライダー、さらに陶芸教室、オートキャンプ場と豊かな自然体験が手軽に楽しめる。

なかでもウエスタン乗馬場は東北随一。雄大な自然のなかでめいっぱい体を動かした後は、ビアハウスでジンギスカンに舌鼓。自然いっぱいの休日を過ごそう。



交通／陸羽東線堺田駅より徒歩7分

# 山刀伐峠

NATAGIRITOUGE

高山森々として一鳥声きかず 木の下闇茂りあひて、夜行くがごとし…『奥の細道』より

山刀伐峠は、当時、『奥の細道』の本文からもうかがうことができるように、ブナ林の中の細く曲がりくねった道でしたが、今は新道ができたことによって、一瞬のうちに通り過ぎてしまいます。

土地の若者の案内で芭蕉主従が苦勞して越えた山刀伐峠（旧道）は、昭和60年の秋に「歴史の道」として整備され、散策が容易にできるようになりました。

頂上には、子持ち杉や地蔵尊があり、その後に故加藤楸邨氏揮毫による「奥の細道山刀伐峠越頭影碑」が地元の有志により木立のなかに建てられています。



### 瀬見温泉

源義経伝説が語り継がれる名湯瀬見温泉。夏は溪流釣り、冬はスキーと四季折々の楽しみが満載。ふかし湯が人気。



### 山刀伐峠越頭影碑



### 大堀温泉

春は山菜とり、夏はアユ釣り、秋にはきのこ狩りと、まさに四季折々の山形の旬が楽しめる白川溪谷。清流が印象的な温泉。

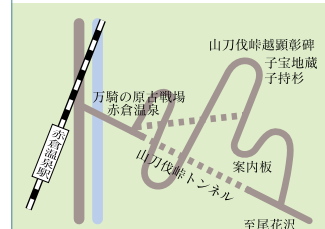
### 琵琶温泉の沢

テニスコート、釣り堀、プール施設が整備された温泉。コテージ風の温泉付き貸別荘が立ち並ぶ静かな別荘地。



### 亀割子安観音

杉木立の中にひっそりと燈明が揺れている。義経の若君、亀若丸誕生のご加護があったとして有名。



交通／陸羽東線赤倉温泉駅より車10分



# 尾花沢

OBANAZAWA

涼しさを 我が宿にして ねまる也

旅の情を知る清風の行き届いた、厚いもてなしによって涼しくくつろぐことをえた感謝の意

## 芭蕉清風歴史資料館

紅花大尽ともいわれた鈴木清風、そして俳聖芭蕉との交友を伝えてくれるのがこの資料館。

## 銀山温泉

銀山川の清流をはさんで、古風な三層、四層の木造旅館が立ち並び、大正時代のノスタルジックな雰囲気が漂う湯治場となっている。



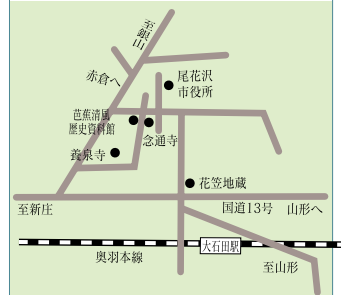
## 徳良湖

山形県を代表する夏の祭典である花笠踊りの発祥の地。アウトドアやスポーツのメッカとしても知られる。



## 徳良湖温泉「花笠の湯」

平成16年度に開湯。トルマリン(電気石)の原石を埋め込んだ露天風呂が人気。家族風呂付休憩室もある。



交通／奥羽本線大石田駅よりバス10分



# 翁塚

OKINAZUKA

眉掃きを 倅にして 紅粉の花

紅花の格好が、ちょうど女性のお化粧道具である眉刷毛によく似た姿という意



## 天童温泉

将棋の駒の里ならではの王将風呂等ユニークなお風呂が楽しめる。新幹線も停車し、交通の便も非常に良い。



## 翁塚



芭蕉主従が尾花沢から山寺に向かう途中、立ち寄った念仏寺跡が将棋といで湯の里天童・舞鶴山麓にあり、翁塚の碑が建てられています。

また、天童郊外の石倉には、旧道が残り、芭蕉の※「眉掃きを 倅にして 紅粉の花」の句碑があります。紅花は古来から末摘花とも呼ばれ、数多くの文人墨客から愛されてきました。ちょうどその時期(陽暦7月13日)にはそんな可憐な紅花が畑一面に咲き誇り、芭蕉一行の眼を楽しませたことでしょう。

※「眉掃き」とは、化粧道具で、白粉をつけた後に、眉を掃く小さな刷毛のことです。花の句に、女性の化粧道具を添えた芭蕉の手腕を感じます。



## 旧郡役所資料館

明治時代の東村山郡役所で、現在では、明治や大正期の人々の暮らしや文化に関する資料を展示している。

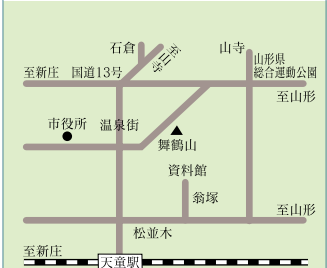


## 若松寺(若松観音)

最上三十三観音第1札所。708年に、行基が開山したと伝えられている。縁結びの観音様として有名。

## 将棋駒

古くは江戸時代末期にまで遡る天童の将棋駒。現在、天童市は全国の将棋駒生産量の約95%を占める。その匠たちの伝統の技から生まれる名品を堪能したい。



交通／奥羽本線天童駅よりバス5分

# 立石寺

RISSHAKUGI

閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声

芭蕉主従が尾花沢ですすめられ、山寺を訪れたのは夏の暑い盛りでした。

麓の宿坊に宿を求め、山上山下の堂々を巡拝し、その荘厳美にうたれ『奥の細道』に名句名文が残されたことにより広く知られるようになりました。

山寺立石寺は、貞観2年(860年)慈覚大師によって開かれた比叡山延暦寺の別院で東北屈指の霊場となっています。1000段に及ぼうという石段を登っていくと、長い歳月を経た老杉のなかに幾つもの奇岩やお堂が点在し、山全体が景勝地になっています。さらに、南院地区には、山寺芭蕉記念館、後藤美術館、風雅の国があり、山寺の全容が一望視されます。

## 山寺芭蕉記念館

名勝山寺の素晴らしい眺望を堪能することができる南院跡に、建立された。芭蕉の墨跡、奥の細道関係資料などが鑑賞できる。研修室も使用できる(有料)。



## 山寺芭蕉像

東北の名刹として名高い山寺。奥の細道ゆかりのものとしては、蟬塚、芭蕉像等が佇み、往時を偲ばせる。



## 山寺立石寺

俳聖芭蕉ゆかりの東北の名刹。重要文化財の根本中堂をはじめ、幾つかの堂塔伽藍が点在する。



## 山寺立石寺秘宝館

立石寺の仏像や宗教資料が収蔵されている。また日本最古といわれる伝教大師像も保管されている。

## 【山寺の行事】

5月中旬 山王祭  
8月初旬 夜行念仏  
8月初旬 山寺磐司祭



交通／仙山線山寺駅より徒歩5分

# 大石田

ŌISHIDA

さみだれを あつめてすずし もがみ川

山寺での1日を楽しんだ芭蕉主従は、大石田の俳人高野一栄(平右衛門)に迎えられ、日和を待って最上川に遊び、新しい俳諧の指導にあたりました。芭蕉と地元の俳人が詠んだ歌仙「さみだれを」一巻が残されています。芭蕉は※「このたびの風流ここに至れり」と熱い想いを感じずにはいられていませんでした。大石田は、かつて最上川舟運の河岸として栄えたところで、現在の町並みからもその繁栄ぶりがうかがえます。

また、本県上市市が生んだアララギ派歌人斎藤茂吉が戦後(昭和21年頃)約2年滞在し、こよなく愛したところとしても知られています。

※「今回の旅の風流は、この地元の人々の風雅においてきわまった」という意味。

## あつたまりランド深堀

最上川沿いの田園地帯にあり、サウナやジェットバス等の数種類のお風呂を満喫できる。宿泊施設「虹の館」も併設。



## 芭蕉句碑



## 乗船寺涅槃像

最上川舟運の繁栄をいまに伝える一つが釈迦涅槃像だ。京仏師の作で、2mを超える大身は全国でも珍しいもの。整った顔は、まるで微笑んでいるかのように穏やか。



## 聴禽書屋

歌人の斎藤茂吉が、疎開中に住んだ大石田の素封家二藤部家の離れ。名称は、庭内の木立を飛ぶ小鳥の声に因んだものとされている。隣接して歴史民俗資料館がある。



交通／奥羽本線大石田駅下車



# 新庄

SHINJO

水のおく 氷室尋る 柳哉

「氷室」とは、天然の氷を夏まで貯蔵するための穴や小屋のこと。「こんな冷たい清流が流れてくる源にはきっと氷室でもあるのだろう」と詠んだものです。

高野一栄・高桑川水らに送られ、大石田をあとにした芭蕉主従は、尾花沢で知り合った渋谷甚兵衛（風流）宅に2泊し、歓待を受け、地元の俳人と巻いた歌仙を残しています。

また、旧羽州街道の新庄城下南入り口に、芭蕉史跡「柳の清水」があり、風流亭で芭蕉が詠んだ句「水のおく 氷室尋る 柳哉」の句碑が建てられています。

新庄は、最上地方の中心でかつては新庄藩6万石の城下町として栄えました。当時の城跡は、現在、最上公園として残っており、春の「かど焼きまつり」、夏の「新庄まつり」など、四季折々のイベントが繰り広げられます。

近くには芭蕉主従が最上川を舟で下った乗船場（本合海）があり、川岸には芭蕉と曾良の陶像が行んでいます。



## 新庄ふるさと歴史センター

約250年の伝統を誇る新庄まつりの山車、さらに当地域の先人たちの暮らしがわかる歴史民俗資料が展示されている。



## 芭蕉句碑



## 新庄温泉

城下町新庄の郊外最上川左岸の丘陵地にある温泉で、地元最上川の川ガニ料理をめぐって毎年訪れる常連客も多い。



## 芭蕉の句碑と柳の清水跡

「柳の清水」は昭和前期まで清水が湧き出ていたところ。この場所には芭蕉も立ち寄り、清水をのんだのかもしない。



交通／奥羽本線新庄駅下車

# 古口

FURUKUCHI

最上川はみちのくより出て  
山形を水上とす  
『奥の細道』より

藩政時代古口に舟番所があり、当時は印判所といわれ、最上川を行き来する舟の監視をしていました。本合海から舟客となった芭蕉主従は、古口で舟を乗り継ぎ川を下りました。

最上峡（古口から清川間）は、両岸に屹立した山が迫り景観にすぐれ、※**仙人堂**、白糸の滝など義経の伝説が今に語り継がれています。ここを訪れたら、ぜひ体験していただきたいのが最上川の舟下りです。四季を通じて船頭の「最上川舟唄」を聞きながら約1時間の川下りが楽しめます。

※「仙人堂」は、源義経の父常陸坊海尊を祀っています。海尊は仙術を使い、長生きをしたといわれています。



## 草薙温泉

最上川周辺観光の拠点となる温泉地。最上川のなかで最も美しい景観を誇る白糸の滝が湯舟から望める。

## 高麗館

日韓友好の村「高麗館」は、食をはじめ、民族文化、物産などさまざまな角度から友好を結ぶ施設となっている。



## 戸沢藩船番所(舟下り乗船所)

最上川中流部である古口から草薙間約12キロの舟下りをする舟下り乗船所。大型の駐車場もあり便利。



白糸の滝

## 山ノ家杉

樹齢1000年を超える老杉ながら、巨大で、太い物は幹周りが15mも。最上峡一带に見られる天然杉で土湯杉、神代杉、仙人杉とも呼ばれている。



交通／陸羽西線古口駅より徒歩7分



# 清川

KIYOKAWA

五月雨を 集めて早し 最上川

五月雨の季節、最上川が水かさを増し、  
豪壮雄渾な流れの早さから…。

清川は最上川を下った芭蕉主従が下船した地で、最上川の主要港で酒井藩が関所をおいた庄内の玄関口でもありました。

川岸の関所跡（清川小学校裏）に芭蕉の「五月雨を集めて早し最上川」の句碑と芭蕉像が建っています。

近くに幕末の志士「清河八郎」をまつる清河神社と、遺品や遺墨を展示した清河八郎記念館があります。

また、隣の狩川には楯山公園や歴史資料館（入館無料）もあり町民の憩いの場として親しまれています。さらには、風力発電について遊びながら学べる施設としてウインドーム立川（風車村）には、週末になると多くの家族連れが訪れます。



## 月の沢温泉

北月山荘の周辺には、キャンプをはじめとするレクリエーション施設が整備されている。ファミリーで楽しめるレジャー温泉。



## 清河八郎記念館

明治維新の志士清河八郎の威光を物語る資料や遺品が展示されている。12月から2月下旬は休館。

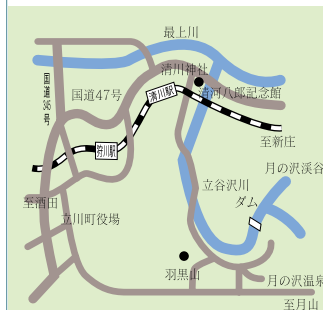
## 風の町立川

シンボル風車や風のモニュメントなど、地域の特性である強風を資源として活用しているのが立川町だ。



## 俳聖芭蕉上陸の地

かつての清川関所跡であり、さらに芭蕉一行の庄内上陸の地ともいわれている。



交通／陸羽西線清川駅下車

# 羽黒山

HAGUROSAN

有難や 雪をかほらす 南谷

清川から羽黒山へ向かった芭蕉主従は、呂丸の案内で羽黒山中腹の南谷別院に旅装を解き、別当代の会覚阿闍梨（えかくあじやり）から大変なもてなしを受け、7泊しています。

出羽三山は、およそ1400年前、崇峻天皇の第一皇子、蜂子皇子によって難行苦行のすえ開山された羽黒修験道の本拠地であり、麓の随神門から山頂まで2446段の石段が続く参道には、特別天然記念物の杉並木や国宝の五重塔があります。南谷別院跡は、参道二の坂を登り詰めたところを右手に400メートルばかり入ったところで、礎石や古い池が残り、昔日を偲ぶことができます。環境省認定の「かおり風景100選」にも選ばれました。



## やまぶし温泉ゆほか

出羽三山にすっぽりと抱かれた山伏温泉。美しく雄大な月山の絶景を眺めながら湯浴みを楽しみたい。



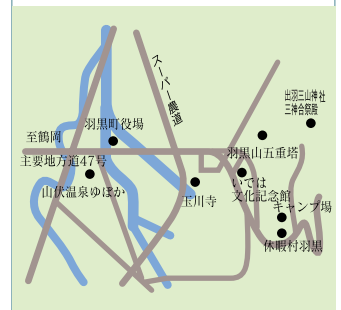
## いでは文化記念館

羽黒山表参道入口近くにあるこの記念館は、出羽三山文化を丁寧に解説してくれる施設。特に神社の四季の祭りを紹介する映像シアターはぜひ見てみたい。



## 出羽三山神社

羽黒派山伏の根拠地として繁栄してきた羽黒山。この建物は、神仏習合時代の名残を語る貴重な物。樹齢500年程の杉並木は実に見事。



交通／羽越本線鶴岡駅よりバス50分

# 月山

GASSAN

雲の峰 幾つ崩れて 月の山

芭蕉主従は、羽黒山滞在中、三山の最高峰である月山（1984m）頂上の月読命（つきよみのみこと）をまつる御室を拝し、頂上小屋に1泊の後、湯殿山へと足をのばしました。

主峰月山は、山形県の中心部に位置し、まさに芭蕉の句「雲の峰 幾つ崩れて 月の山」にふさわしい展望が望めます。

月山は日本海からの季節風を直接受けるために国内でも有数の豪雪地帯です。そのため夏スキーのメッカとして全国的に知られています。



## 弥陀ヶ原

月山8合目駐車場から山頂に向かう途中に広がる湿原で、約130種類の高山植物が群生している。

通常3000m以上の山岳で見られない貴重な高山植物（クロユリ、ニッコウキスゲ、ハクサンチドリ）たちが短い夏を精いっぱい咲き競います。期間は7月上旬から9月下旬。



## 月山神社

毎年7月1日に山開きが行われると山頂の月山神社を目指して、白装束の参拝者で賑わう。



## 月山志津温泉

雄大な月山の自然に抱かれた温泉。山菜料理が美味。新緑、紅葉、雪景色など、月山の四季折々の姿を満喫できる。



交通／羽越本線鶴岡駅よりバス85分

# 湯殿山

YUDONOSAN

語られぬ 湯殿にぬらす 袂かな

湯殿山は、出羽三山の奥の院といわれ、その昔から「言うなかれ、語るなかれ」と戒められた掟の厳しい神域です。本殿、拝殿がなく、熱湯を湧出する赤い巨岩がご神体となっていますが、これは神社の原初の形態といえます。

人々は熱い湯が流れるその岩肌の上を素足で歩きながら、ご神体に祈るのです。本宮前には、「語られぬ 湯殿にぬらす たもとかな」芭蕉、「湯殿山 銭踏む道の 涙かな」曾良の句碑が残っています。

## 湯殿山神社

長い歴史と数々の伝説を残す出羽三山のなかでも、奥の院とされる最も神秘的な神社。神殿はなく、その珍しい御神体については、昔から他言は無用とされ、写真撮影も禁止されている。



## 大日坊

湯殿山8つの参拝口の一つ、大網口にある大日坊には、数多くの文化財が保管されています。真如海上人の即身仏が安置され、参拝も可能。



## 多層民家

かつての宿場町としての面影を残す田麦俣集落の多層民家。兜造りの屋根、中4層構造など独特。



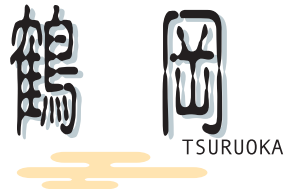
## 月山あさひ博物村

山ぶどう研究所、アマゾン自然観、文化創造館がある観光施設。またパンジージャンプの会場ともなっている。



交通／羽越本線鶴岡駅よりバス55分





めずらしや 山をいで羽の 初茄子

月山、湯殿山、羽黒山の  
出羽三山巡拝を終え、山を  
降りた芭蕉主従は、鶴岡の  
長山重行邸に赴きました。  
そこで名物「民田茄子」を  
いただき、その風味が忘れ  
られずに詠んだ「初茄子」  
句が残されています。

当時の鶴岡は庄内藩の城  
下町で、城跡の鶴岡公園周  
辺は、かつての面影を残し  
ています。

一行は、長山邸に3泊のの  
ち別れを惜しみ、内川乗船  
所から通い舟の客となり酒  
田へ向かいました。

近くには、海辺の温泉「湯  
野浜」、由良、山間のいで湯  
「湯田川」があります。



## 致道博物館

かつては庄内藩主酒井家の  
御用屋敷だったが、現在は  
旧西田川郡役所や多層民家  
などが移築保存されている。



## 湯野浜



## 湯田川



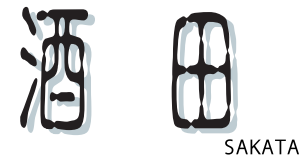
## 由良



## 致道館



交通／羽越本線鶴岡駅下車



暑き日を 海に入れたり 最上川

鶴岡の長山邸を辞した芭  
蕉主従は、酒田の藩医で俳  
人の伊藤玄順（淵庵不玉）  
を訪れ、象潟（蜷瀧寺）ゆ  
きと前後し9泊したゆかりの  
地で、滞在中に句会が開か  
れています。

酒田は、日本海に注ぐ最  
上川河口に発達した港町です。  
新井田川岸に並んだ二重  
屋根土蔵造りの山居倉庫は  
米どころならではの倉庫  
群です。

更に、日本を代表する大  
地主本間家旧本邸や西鶴の『日  
本永代蔵』に描かれた豪商「鑑  
屋」など、現在も当時の繁  
栄ぶりを偲ぶ建物が残って  
います。

## 日和山公園



## 本間美術館



## 相馬楼

江戸時代から続いた料亭「相  
馬屋」を改装し舞娘茶屋と  
して開放。楼内土蔵には雛  
人形や書画、古美術を展示  
している。

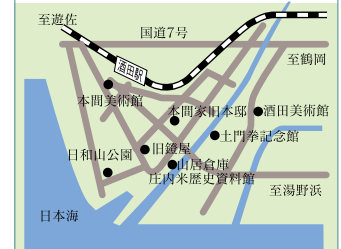


## 山居倉庫

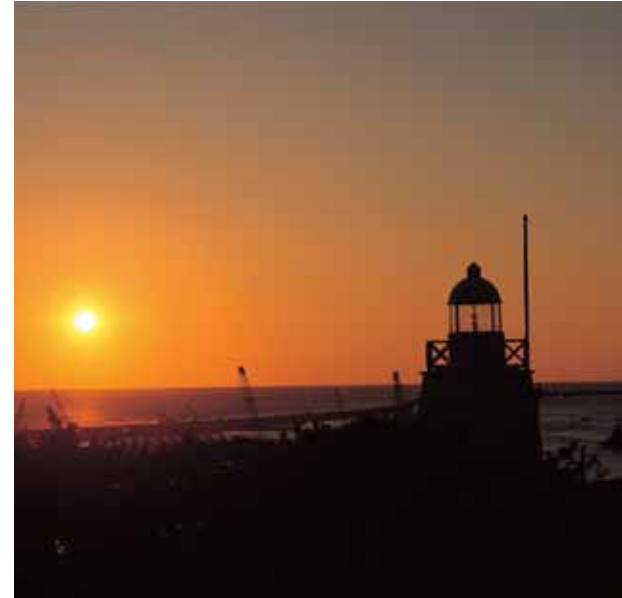


## さかた海鮮市場

1階は、水揚げされたばかり  
の鮮魚店。2階はそのおいし  
い鮮魚を調理する食事処。  
お土産スポットとしても人気。



交通／羽越本線酒田駅下車



# 三崎山

MISAKIYAMA

あつみ山 吹浦かけて 夕涼み

酒田から象潟・蛸満寺へ向かうおり通った三崎峠は、日本海に突き出た三つの岬からなっており、現在、三崎公園として散策道路が整備され岬の突端から日本海に浮かぶ飛島を望むことができます。

また鬱蒼と茂るタブの樹林のなかに敷石の旧道が保存され、当時の難渋さが伺われます。



## 十六羅漢

寛海和尚が航海の安全を祈って自然の岩に16体の羅漢と6体の仏像を浮彫したもの。町有数の観光名所。



## 旧青山本邸

ニシン漁で巨額の富を築き、漁業王と呼ばれた青山留吉の資料や文化遺産が展示されている。北海道小樽には別邸もあり。遊佐駅より車で15分。

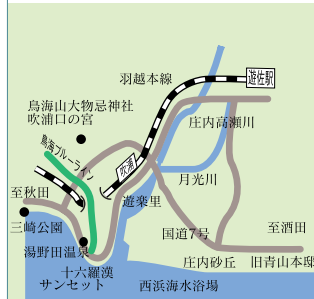


## 鳥海温泉郷

西浜海水浴場に近い温泉郷。打たせ湯、サウナなどの施設も充実。近くには、鳥海自然文化館、コテージ村、マルチドームなど施設がいっぱい。



## 鳥海山



交通／羽越本線吹浦駅より車10分

# 温泉

ATSUMI

三瀬ヨリ温泉へ三リ半。此内、小波渡、大波渡、漏苔沢ノ辺二鬼かけ橋、立岩、色々ノ岩組景地有。  
『曾良旅日記』より

## あつみ温泉

1000年以上の歴史をもつこの温泉は、芭蕉をはじめ、与謝野晶子ら多くの文人墨客に愛された。情緒漂う朝市も名物。



## 鼠ヶ関

日本海屈指の規模を誇る鼠ヶ関マリーナ。澄みきった青空とマリンプールに映える白いヨット。日本海のサンセットクルーズはおすすめ。



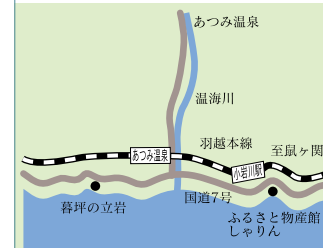
## 山五十川の玉杉

山五十川(やまいらがわ)地区にある大杉。樹高は、約37m。国指定天然記念物に指定されている。



## 暮坪の立岩

暮坪集落の北方海岸に直立した高さ51mの立岩。ここに芭蕉句碑が佇んでいる。



交通／羽越本線あつみ温泉駅下車

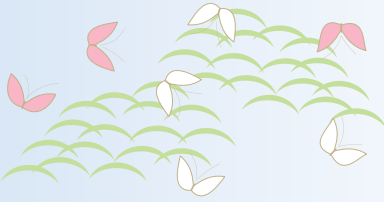


| 施設名            | 問合せ先                        | 展示内容                           | 開館時間                           |
|----------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 封人の家（旧有路家）     | 最上郡最上町堺田<br>(0233) 45-2397  | 民家建造物（重文）民具、馬具等                | 開）9:00～17:00<br>休）12/1～3月末     |
| 芭蕉・清風歴史資料館     | 尾花沢市尾花沢<br>(0237) 22-0104   | 芭蕉・清風（おくのほそ道）関係資料              | 開）9:00～16:30<br>休）年末年始         |
| 山寺芭蕉記念館        | 山形市山寺<br>(023) 695-2221     | 奥の細道関係展示・茶室                    | 開）9:00～16:30<br>休）不定休（要問合せ）    |
| 山寺後藤美術館        | 山形市山寺<br>(023) 695-2010     | フランス・バビロン派の画家の<br>作品やガラス工芸品を展示 | 開）9:00～17:00<br>休）月曜（祝日の場合翌日）  |
| 山寺秘宝館          | 山形市山寺<br>(023) 695-2002     | 仏像、舞楽面、衣裳                      | 開）8:00～17:00<br>休）12/1～4月中旬    |
| 山形県郷土館・文翔館     | 山形市旅籠町<br>(023) 635-5500    | 旧県庁 国の重要文化財 建物・知事室             | 開）9:00～16:30<br>休）月曜（祝日の場合翌日）  |
| 最上義光歴史館        | 山形市大手町<br>(023) 625-7101    | 最上義光着用の甲冑・刀剣                   | 開）9:00～16:30<br>休）月曜（祝日の場合翌日）  |
| 山形県立博物館        | 山形市霞城町<br>(023) 645-1111    | 動植物、地学、郷土関係資料                  | 開）9:00～16:30<br>休）月曜、祝日        |
| （財）山形美術館       | 山形市大手町<br>(023) 622-3090    | 書画、工芸、美術品、奥の細道図屏風              | 開）10:00～17:00<br>休）月曜（祝日の場合翌日） |
| 天童市立旧東村山郡役所資料館 | 天童市五日町<br>(023) 653-0631    | 建物（県文化財）、古文書類（翁塚）              | 開）9:30～16:30<br>休）月曜（祝日の場合翌日）  |
| 天童市将棋資料館       | 天童市本町<br>(023) 653-1690     | 古代盤上遊戯、世界の将棋                   | 開）9:00～18:00<br>休）水曜（祝日の場合翌日）  |
| 広重美術館          | 天童市鎌田本町<br>(023) 654-6555   | 天童広重を含む多くの浮世絵が揃う               | 開）8:30～18:00<br>休）火曜、祝日、月末     |
| 大石町立歴史民俗資料館    | 北村山郡大石田町<br>(0237) 35-3440  | 芭蕉及び斎藤茂吉外人墨客の遺品                | 開）10:00～16:30<br>休）月曜、祝日の翌日    |
| 新庄ふるさと歴史センター   | 新庄市堀端町<br>(0233) 22-2188    | 山車、郷土民俗資料                      | 開）9:00～16:30<br>休）火曜、祝日の翌日     |
| 清河八郎記念館        | 東田川郡立川町清川<br>(0234) 57-2104 | 清河八郎遺墨、遺品等                     | 開）9:00～17:00<br>休）月曜           |
| 立川町立歴史民俗資料館    | 東田川郡立川町狩川<br>(0234) 56-2409 | 建造物（庄屋）、民俗・民芸品                 | 開）10:00～16:00<br>休）月曜、月末、祝日の翌日 |
| 出羽三山歴史博物館      | 東田川郡羽黒町手向<br>(0235) 62-2355 | 古鏡、書画、刀剣、仏像                    | 開）8:30～16:00<br>休）11月24日～4月下旬  |
| いでは文化記念館       | 東田川郡羽黒町手向<br>(0235) 62-4727 | 出羽三山の歴史・文化の紹介                  | 開）9:00～16:30<br>休）火曜、祝日の翌日     |
| 致道博物館          | 鶴岡市家中新町<br>(0235) 22-1199   | 民具、バンドリ、洋風建物、多層民家              | 開）9:00～16:30<br>休）年末年始         |
| 月山あさひ博物村       | 東田川郡朝日町<br>(0235) 53-3412   | アマゾン動植物資料その他、ワイン               | 開）9:00～17:00<br>休）第4月曜         |
| 本間美術館          | 酒田市御成町<br>(0234) 24-4311    | 茶碗、伊勢物語塗龍本、蒔絵                  | 開）9:00～17:00<br>休）11月～2月の月曜    |
| 本間家旧本邸         | 酒田市二番町<br>(0234) 22-3562    | 本間家三代光丘が幕府の巡見使宿として建造したものを公開    | 開）9:30～16:30<br>休）年末年始、展示替え日   |
| 土門拳記念館         | 酒田市飯森山<br>(0234) 31-0028    | 土門拳氏の作品 古寺巡礼、室生寺               | 開）9:30～16:30<br>休）12月～3月の月曜    |
| 旧 鐘 屋          | 酒田市中町<br>(0234) 22-5001     | 江戸時代回船問屋として繁栄し、典型的な町屋造りを再建     | 開）9:00～16:30<br>休）12月～3月の月曜    |
| 庄内米歴史資料館       | 酒田山居町<br>(0234) 23-7470     | 山居倉庫の歴史、農機具等                   | 開）9:00～16:30<br>休）年末年始         |
| 旧 青 山 本 邸      | 遊佐町比子字青塚<br>(0234) 75-3145  | 漁業王青山留吉氏の本邸                    | 開）9:00～16:30<br>休）毎週月曜         |



|              |               |                   |             |             |             |               |                 |                |               |               |               |
|--------------|---------------|-------------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 五月雨を集めて早し最上川 | 涼しさやほの三日月の羽黒山 | 加多羅札努湯殿廻仁努良須当毛東迎那 | 雲の峰幾つ崩れて月の山 | 有難や雪をかほらす南谷 | 雲の峰幾つ崩れて月の山 | 語られぬ湯殿にぬらす袂かな | めづらしや山をいで羽の初なすび | あつみ山や吹浦かけてゆう涼み | 暑き日を海に入れたり最上川 | あつみ山や吹浦かけて夕涼み | あつみ山や吹浦かけて夕涼み |
| 東田川郡立川町清川    | 東田川郡羽黒町手向     | 羽黒山頂・神社境内         | 東田川郡羽黒町手向   | 東田川郡羽黒町手向   | 東田川郡羽黒町手向   | 湯殿山本宮口前       | 鶴岡市山王町長山小路      | 酒田市日和山公園       | 同 右           | 飽海郡遊佐町吹浦      | 西田川郡湯澤町暮坪     |
| 加藤楸邨         | 内大臣公修卿        | 大納言資愛卿            | 中納言豊季卿      | 隆西大明略三卿     | 芭蕉直筆拡大      | 小宮豊隆          | 酒井忠明            | 俳人武然           | 素 竜           | 矢田挿雲          | 結城健三          |

|                                         |                    |       |
|-----------------------------------------|--------------------|-------|
| 俳 文                                     | 建立地                | 揮毫者   |
| 蚤虱馬の尿する枕もと<br>芭蕉翁顕彰碑おくのほそ道<br>「高山森々」の一節 | 最上郡最上町堺田<br>封人の家   | 小宮豊隆  |
| 涼しさを我宿にしてねまるなり                          | 尾花沢市山刀伐峠           | 加藤楸邨  |
| まゆはきを俤にして紅粉の花                           | 尾花沢市養泉寺境内          | 路水・素州 |
| 閑かさや岩にしみ入蟬の声                            | 天童市石倉              | 加藤楸邨  |
| 静かさや岩にしみ入蟬の声                            | 山形市山寺立石寺<br>根本中堂西側 | 高梨一具  |
| 奥の細道・山寺の頂一節                             | 山形市山寺（立石寺）         |       |
| さみだれを集めて涼しみがみ川                          | 同 右                | 素 竜   |
| 水のおく氷室尋る柳哉                              | 北村山郡大石田町           | 土屋只狂  |
| 風の香も南に近し最上川                             | 新庄市金沢新町            | 沙 羅 書 |
| 五月雨を集めて早し最上川                            | 新庄市民大平ラザ           | 渋谷みち  |





## 山形県奥の細道観光資源保存会

山形市城南町一丁目16番1号 社団法人山形県観光物産協会内 TEL.023-647-2333

やまがたプラザ・ゆとり都 TEL.03-3504-8713  
山形県大阪事務所 TEL.06-6341-6816

山形県名古屋事務所 TEL.052-586-9110  
山形県観光物産情報センター北海道 TEL.011-231-3080